

専門ゼミ A		教授 廣瀬 郁雄	
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の 必修科目	科目ナンバリング	21300301

1. テーマ

日本の会計制度（実務で行なわれている会計）は、金融商品取引法による会計、会社法による会計、そして税法による会計がある。このゼミでは、わが国で実際に行なわれている会計制度を取り上げ、その内在している問題点を中心に研究する。

2. ゼミのねらい・概要

会計は“企業の言語”といわれるように、いまや会計知識なくしては合理的な意思決定をくだすことができないと言われている。とくに昨今、企業活動の複雑化・多様化に伴い、企業内容を的確に把握するための会計情報を求める社会的ニーズの増大にはまざましいものがある。

このゼミでは、かかる背景のもとに、会社の経理関係を志向する者及び公認会計士や税理士等の国家試験を受験しようとする者はいうまでもなく、会社の営業マンを志向する者に至るまでを対象として、簿記会計の原理を専門的に研究することをねらいとする。

3. ゼミ計画

1. 企業会計の基礎	9. 計算書類の記載事項
2. 企業会計の制度的基礎	10. 一般原則の内容(1)－真实性・正規の簿記
3. 企業会計の課題	11. 一般原則の内容(2)－資本利益区別・明瞭性
4. 企業会計の新たな課題	12. 一般原則の内容(3)－継続性・保守主義等
5. 会計公準論	13. 損益計算の構造
6. 概念フレームワーク	14. 収益の認識と測定
7. 一般に公正妥当と認められる企業会計の基準	15. 費用の認識と測定
8. 計算書類の概観	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の課題に対してレポーターを決め、レポーターはレジメの作成並びに2時間以上の参考文献等を含む予習をすること。また、その他の学生は、課題に対して最低1時間以上の参考書等を含む予習をしてくること。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

レポートに対してその内容についてコメントを付けて返却する。その際に追加の課題が出された学生は再レポートを提出すること。

6. ゼミにおける学修の到達目標

会計に関する専門的な知識の修得することを到達目標とする。

7. 成績評価の方法・基準

授業への取組み姿勢（80%）及びレポート課題の結果（80%）で評価する。

8. テキスト・参考文献

テキスト、参考書等は授業のなかで紹介する。

9. 受講上の留意事項

毎回の課題に対して、疑問を残さないように細かなことも質問し、授業後には必ず復習に1時間以上かけて課題に対して整理してまとめあげること。